

『教育学研究紀要』（CD-ROM版）編集規程および執筆要綱

I. 『教育学研究紀要』（CD-ROM版）編集規程

2014年9月24日改訂

1. 本紀要は、中国四国教育学会（CSSSE：The Chugoku-Shikoku Society for the Study of Education）の会員の研究発表論文の成果を掲載するものであり、毎年定期的に発行する。本紀要の名称は、『教育学研究紀要』（CD-ROM版）とする。
2. 編集委員および編集委員長は、理事会の議を経て、会長が委嘱する。編集委員長は編集委員会を代表し、編集委員会会務をつかさどる。
3. 本紀要に論文を掲載しようとする会員は、当該年度の学会大会で発表した後、所定の申込手続きを経て、中国四国教育学会事務局に論文を提出するものとする。
4. 原稿の掲載は、編集委員会において審議・決定する。
5. 投稿件数は、原則として1人1編とする。共同研究など連名で投稿する場合は2編まで許可する。ただし、代表執筆者として投稿できるのは、個人研究・共同研究を問わず、1人1編までとする。また、ラウンドテーブルなどの成果に基づく論文に関しては、編集委員会の承認を経て別途掲載することができる。
6. 編集委員会は、掲載予定の原稿について（執筆者との協議を通じて）内容の変更を求めることがある。

II. 『教育学研究紀要』（CD-ROM版）原稿執筆要綱

2021年11月23日改訂

1. 論文原稿は未刊行のもので、当該年度の学会大会で発表したものに限り、原稿は、完成原稿を提出する。
2. 原稿書式は次の各項の規定に従うものとする。
 - (1) 原稿は学会HPからダウンロードした原稿執筆テンプレートで作成するものとし、その内容は、題目、目的、方法、結果および考察、注、引用文献などとする。
 - (2) 原稿は、題目、氏名、所属機関、本文（図表・写真・グラフ等も含む）、注、引用文献を含め、所定の原稿執筆テンプレートで、個人研究6枚以内（13,500字程度）、共同研究12枚以内（27,000字程度）とする（ただし共同研究のうち、口頭発表者が1名の場合は、個人研究に準じ6枚以内とする）。句読点、カッコは全角、英数字は半角で記入する。なお、題目・氏名記入用テキストボックスを含め、原稿執筆テンプレートのレイアウト（とりわけ文字数・行数の指定、行間など）は変更しないこと。
 - (3) 完成原稿（図表・写真・グラフ等を割付済みのもの）を、所定の方法で提出するものとする。

〔印刷時の書式〕

1 枚目

2 枚目以降

- (4) 完成原稿の電子データは、必ずWordファイルにて提出すること。なお、提出する前に、書式やフォントが所定の通りになっているか最終確認をすること。

基本書体

日本語フォント：MS 明朝（ただし、見出しのみMS ゴシック）

英字フォント：Times

文字サイズ

題目：16ポイント（中央揃え）

副題：12ポイント（中央揃え）

氏名・所属機関名：11ポイント

本文：10.5ポイント

大見出し：12ポイント（MSゴシック、ただし、英字のみTimes）

小見出し：10.5ポイント（MSゴシック、ただし、英字のみTimes）

注・引用文献：10.5ポイント

- (5) 共同研究は、共同研究用の原稿執筆テンプレートを使用すること。なお、執筆者氏名については、学会大会時の発表者の氏名を、その順序通りに記入すること。
- (6) 大見出し、小見出し、注および引用文献の前に1行スペースをとる。ただし、大見出しのすぐ下に小見出しがくる場合は、大見出しと小見出しの間を空けなくてよい。
- (7) 注および引用文献は、論文末に一括して掲げる。ただし、専門分野により既定の書式がある場合は、それに準ずる。

例①論文の場合

和文：筆者「論文名」『雑誌名』巻号、年、頁。

欧文：筆者，“論文名”，雑誌名，巻号，年，頁。

②単行本の場合

和書：著者『書名』発行所、年、頁。洋書：著者，書名，発行所，年，頁。

- (8) 原稿には、ページ番号を記入しないものとする。
- (9) 紀要掲載費の納入は所定の期日までに行うものとする。
3. 原稿執筆者による校正は、原則として認めない。